

事業所名		多機能型事業所さらし「放課後等デイサービス事業」		支援プログラム		作成日		令和7 年		3 月		6 日	
法人（事業所）理念		「どんなしょうがいがあっても、地域の中で一人の人間として学び・働く喜びを感じられる場があること、自立した生活ができること、それらが認められる社会であること。そして、地域で誰もが輝く明日をおくるために、自分を高め、自分らしく生き、人と人とのつながりを大切に、豊かな社会生活の広がりをめざす。」											
支援方針		・遊びを通して人との関わりを深め、気持ちの表現や社会のルールを学ぶことができるように活動をする。 ・環境や活動内容に配慮をして、一人ひとりの支援目標に沿った支援をおこなう。											
営業時間		9 時 30 分から 18 時 0 分まで				送迎実施の有無		あり		なし			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態の把握・・・来所持の体温測定、支援中の健康観察等 ・構造化を意識した環境設定・・・視覚教材の活用（絵カード、タイムタイマーなどを使用した具体的な表示）、感覚過敏等におけるスペースの配慮 ・SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練・・・SSTによる助言の元、スキルの獲得											
	運動・感覚	・姿勢の保持・・・着席姿勢の保持、体幹のバランスを養う運動遊び（蹴る、投げる等の動きを通して片足姿勢の保持や体全体を使う）、挨拶時の姿勢指導等 ・野球ごっこ、バスケット、リズム運動、制作活動・・・外部講師（音楽、作業療法士）による支援、園庭、河川敷グラウンド、プレイルールの活用、道具の操作、楽器の演奏 ・感覚に特性がある児童への配慮・・・イヤーマフの使用、個室利用などの環境設定											
	認知・行動	・日付、時間（スケジュール）に関する認知の形成・・・絵カード、タイムスケジュールの掲示、タイマーの活用等 ・季節の変化への興味などの完成の形成・・・戸外活動、季節の散策等 ・クッキングや制作活動・・・計量や配分、手順の理解											
	言語 コミュニケーション	・言語の獲得・聞く力の形成・・・言葉遊び（なぞなぞ、伝言ゲーム）、絵本の読み聞かせ、歌唱、読書タイムの設定等 ・言語の受容・表出支援・・・一言スピーチ、インタビュー、作品発表、クイズに答える等、発言の機会で自分の気持ちを言葉にできる経験を重ねる ・言語に特性がある児童への配慮・・・リクエストボード、絵カードやパソコンを使ったコミュニケーション支援等											
	人間関係 社会性	・他者との関わりの形成・・・集団活動での周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方等 ・共同遊びの支援・・・鬼ごっこなど役割のある遊び、ルールのある遊び等 ・社会資源の活用・・・公共施設等での室内外活動（公園、科学館、図書館、児童センター等）、社会見学											
家族支援		・活動内容のお知らせ、個別の連絡ノート、保護者茶話会、保護者学習会 ・個人面談、ご家庭での困りごとに対する助言やサポート ・学校、相談室他の関係者、関係機関との連携による支援体制を構築				移行支援		・進学や転居等での具体的な移行に伴う情報提供と連携、ご本人、保護者の意向確認や状況の共有 ・関係者、関係機関との連携による支援体制を構築					
地域支援・地域連携		・スーパー等への買い物学習、長期休みのランチ、趣味のサークル紹介 ・公共施設での室内外活動・・・公園、科学館、防災を学ぶ、児童センター等 ・7月に法人全体の交流会を開催し、地域住民等の参加				職員の質の向上		・年2回以上の法人内研修、研修企画チーム、新任者や運転者の研修 ・特性理解のためのケース研修、専門家による学習会					
主な行事等		・きらり交流会・・・催し物やバザー（家族、退所者の参加） ・季節ごとのイベント・・・誕生会、縁日（射的やゲーム等）、ハロウィン、クリスマス会、お楽しみ会等 ・長期休み期間の外出活動・・・科学館、動物園、空港、防災センター、チューブすべり、児童センター、公園等											